

宇治市環境保全審議議事要旨

会議名	令和6年度第1回宇治市環境保全審議会
日時	令和6年11月15日(金) 14時00分～15時45分
場所	市役所8F大会議室
出席者	委員 松良会長、鳥居副会長、松原委員、黒川委員、古島委員、江口委員、沢木委員、吾妻委員、居原田委員、岸本委員、魚住委員、中村委員、角谷委員、太田委員、駕海委員 事務局 前田人権環境部部長、西川副部長 吉田環境企画課長、辻村副課長、齋藤地球温暖化対策係長、他 傍聴者 2人
1 開会 2 委嘱状交付 3 市長挨拶 4 正副会長の互選 5 正副会長挨拶 6 報告事項 (1) 事務局から、宇治市環境保全審議会の概要及び沿革についての報告を行った。 意見・質疑なし (2) 事務局から、宇治市第3次環境保全計画についての報告を行った。 (事務局から、欠席の委員からの太陽光発電設備に対する補助制度の拡充が必要との意見を報告) 主な意見・質疑応答 (委員) 資料3、5ページのウの廃棄物の削減の取組等が「脱炭素以外の取組」と表現されている。これは廃棄物の削減は市のCO₂の排出量の算定には入っていないということか。 (事務局) 表現が正確でなく申し訳ない。 「基本目標1 持続可能な脱炭素社会の推進」以外の取組という意味で脱炭素以外の取組と表現している。 (委員) 1ページの温室効果ガスの削減状況だが、令和3年度は前年度比マイナス7.3%と温室効果ガス非常に大きく減少している。この要因は何なのか。 (事務局) 関西電力の二酸化炭素の排出係数が令和2年度に比べて令和3年度は大きく下がっていることが大きな要因。また産業部門のエネルギー使用量が減少していることが要因である。	

宇治市環境保全審議議事要旨

(委員)

逆に増えた部門の要因はどうか。

(事務局)

令和2年度と令和3年度の対比では全ての部門で前年度より減少している。

(委員)

5ページの下段の、海外リユース事業の回収場所は、資料に記載された場所に限定されているのか。公民館・コミュニティセンターは他にもあるが、他の施設で行っていないのは何故か。また、京都中央信用金庫の木幡支店内で行っているのであれば、京都中央信用金庫の他の支店や他の信用金庫・銀行にも拡げていけないのか。

(事務局)

海外リユースの回収場所は現在のところ、表示の5か所のみである。

ぬいぐるみや洋服等を回収するには設置場所に一定のスペースが必要ということもある。

また、京都中央信金庫木幡支店については、近くに木幡公民館もあるが、木幡支店から地域に根差した活動として取り組みたいとの申し出があり回収場所とした経過がある。

(委員)

市民から海外リユース事業の回収場所を、増やして欲しいとの声を聞いている。現在の回収場所を見ても市域でのバランスが悪いように思う。これから拡大をしていこうという考えはあるのか。

(事務局)

設置場所の拡大については、他にできるところがないか検討をしているところで、出来る限り増やしていきたいと考えている。

(委員)

先程、コミュニティセンターは他にもあるとの意見があったので、回収場所のスペースを工夫して、コミュニティセンターには設置してもらえるようにしてもらいたい。ドライブスルーde リサイクルでは中学校の制服や体操服をリサイクルしてもらっており、皆さんに好評だ。立命館宇治で取り組んでいる学校での制服リユースを各公立中学校に広めれば、新入生の皆さんに必要なものであるので良いのではと思うが、考え方を聞きたい。

(事務局)

制服リユースは、まち美化推進課の窓口で常時お預かりしている。公立中学校の制服・体操服・柔道着に対応している。需要があり、順調に進んでいるので、現在の形を継続していきたいと考えている。

(委員)

事前に知っていれば、もっと活用できたとの声もある。窓口をひとつに限定してしまうと必要な方に届きにくい。もう少し門戸を広げられればいいと思うので、検討してもらいたい。

(委員)

農業関係では、水稻の中干し期間を延長すると土の中のメタンの発酵を抑えることができ温室効果ガスの低減ができる。これは、温室効果ガスの削減になるのではないか。

(事務局)

温室効果ガスの排出量の計算については、国の算定方法のマニュアルに基づいている。その算定方法に含まれているものであれば反映されている。

(委員)

3ページの公共施設のLED化について、学校関係は大体完了するとのことだが、その他の公共施設を含めた場合、どれくらいまで進んでいるのか。
クーリングシェルターについて、源氏物語ミュージアム等は有料施設である。有料施設でも開設するのか、無料の施設だけを開設するのかどちらなのか。

(事務局)

公共施設のLED化について、全体の何%まで進んでいるという数字については、今持ち合わせていないが、庁舎や保育所など効果が高いところを優先して進めている。

また、その他の施設についても、公共施設の改修計画に合わせて実施していきたいと考えている。

クーリングシェルターについて、源氏物語ミュージアムは一部有料施設があるが、無料のところを開放している。誰でも利用できる施設として、18施設を指定している。

(委員)

5ページのリサイクルとリユースで、回収された衣類等は全てリサイクルされているのか。廃棄する物がないのか、教えて欲しい。

クールスポットについて、私の勤めている施設もクールスポットとして開設したが、クールスポットとして訪れる市民は少なかった。他の施設はクールスポットとしての利用はあったのか知りたい。

クールスポットに関する表示や周知が少なかったのではないか。

(事務局)

海外リユースだが、回収した衣類等については、破損してる物・濡れているもの等を除き、すべて海外で活用されており、廃棄はないと聞いている。活用の状況の写真も確認している。

(事務局)

クールスポットの周知については、「ここがクールスポットです」というポスターをクールスポット開設施設に配布し掲示をお願いしており、市のホームページにも掲載している。今後も周知に努めていきたいと考えている。利用件数は、集計していないが、クールスポットにおいてエコ・アクション・ポイントを取得された件数は2000件程度ある。

(委員)

1 ページの参考で、宇治市第2次地球温暖化対策地域推進計画が令和5年度までに平成2年度比で25%以上削減を目指すということだが、令和3年度はマイナス14.6%とあるので、目標を達成していないということで良いか。

(事務局)

委員ご指摘のとおり。令和3年度時点では達成していないが、目標年度は令和5年度なので、あと2年残っている状況にある。

(委員)

目標年度は令和5年度ということだが、実績が出てくるのが遅い。CO₂の排出量は関西電力の排出係数や運輸や産業等の平均的な係数というもので変わってくると承知しているが、今回の第3次環境保全計画では、市民、法人、産業や農業に関わっている人たち、行政含めてかなり行動するというのがコンセプトであったのかと思う。市民の方にいろいろな取組をお願いしているなかで、やむを得ないのかもしれないが、指標として前回の第2次計画の数値ですら、未だに出ていない。ちなみに、第2次計画の目標は達成できるのか。

(事務局)

第2次計画の目標は令和5年度までに25%減であるところ、令和3年度に14.6%減であり、厳しい状況にある。

(委員)

目標が達成できていないのは行政だけの責任ではないが、市民がもう少し積極的に取り組んでいこうということにもつながっていくものなので、タイムリーな目に見えて分かるような工夫をした方が良い。報告を聞いている際に計画書を見ないと分かりづらいので、どの様に削減が進んでいるのか、停滞しているのか分かるように資料を工夫してもらいたい。

(事務局)

温室効果ガスの算定は国のマニュアルに従っているが、2年程度遅れるものとなっている。タイトにこういった情報が出せるのか考えていきたい。
また、資料についても次回に向けて検討していきたい。

(委員)

5ページの海外リユースが好評と聞いているが、市民への周知が出来ているか難しいところがある。市のごみ収集の定点に、こういった取組を行っている、併せてエコ・アクション・ポイントを取得できるというような掲示をすればごみの削減につながるのではないかと。現状そういった表示はしているのか。

(事務局)

ごみの収集の定点にはそのような掲示はしていない。定点は地元町内会で管理してもらっているので、こういった方法が可能か検討していきたいが、管理している方の負担にならない方法を検討する必要があると考えている。

(委員)

ドライブスルーde リサイクルはどうように周知されているのか。

(事務局)

ドライブスルーde リサイクルは、市政だより・ホームページ・LINE、町内会での回覧など様々な方法を使って広報している。

(委員)

できるだけ、もっと周知した方が良いと思う。

(委員)

1ページの進捗状況について、我々は昨年度、懸命に計画策定をしてきた。今年度目標はこうで、現状はこうだというような発信の仕方をしていかないといけない。宇治市としてはこういう考えで行くんだともう少し強く発信をしてもらいたい。計画として達成しないといけないところは強く言ってもらいたい。

(委員)

3ページのZEV普及促進事業費補助金だが、電気自動車がほとんど普及していない状況にあるので、V2H充放電設備の普及を推した方がよい。停電があった時のバックアップとしても使えるので、こちらの予算を多くすると活用がうまくいくのではないかな。

6ページの環境保全・環境監視の水質に関して、PFOS・PFOAは最近問題になっている件だが、環境省からの報告では京都は自衛隊の施設が多いことからPFOS・PFOAが多い部類になっている。発がん性のリスクもあるので、市民も関心を持っているので、追加で調査など今後検討してはどうか。

(事務局)

ZEV補助金のV2Hについては、委員ご指摘のとおり停電時に電気自動車が蓄電池代わりになるというところで有効な設備であると考えており、皆さんに設置してもらえるようにしていきたいと考えている。

PFOS・PFOAの調査については、京都府で実施されているところであり、情報交換を引き続き行っていきたいと考えている。

(委員)

今の防災の関係で言うと、停電時に太陽光などの再生可能エネルギーの活用ができるので、防災のために再生可能エネルギーを整備するという論理で打ち出すともっと協力してもらえる。論理の組み立て方を検討してもらいたい、

(事務局)

防災面から見たV2Hや太陽光発電は有効な設備であると考えている。宇治市では、庁内にプロジェクトチームを設置し、13の部署と共同で脱炭素の取組を検討しており、その中の危機管理室とも連携調整していきたい。

(3) 事務局から、その他 太陽光発電・蓄電設備の設置に対する補助制度の拡充についての報告を行った。

主な意見・質疑応答

(委員)

高効率給湯器というのは、太陽光発電設備・蓄電設備と合わせて上限30万円ということか。

(事務局)

太陽光発電設備・蓄電設備に上乗せしてプラス30万円若しくは80万円となっている。

(委員)

この補助制度は住宅用のみか。

(事務局)

ご自宅の住宅用に限定している。

(委員)

最近では水田に太陽光パネルを設置し、その下で水稻行っている人もいる。そちらへの拡充が可能であれば検討してもらいたい。

(事務局)

宇治市にはないが、京都府の補助制度があるので、相談があれば、そちらの案内をしている。

その他

主な意見・質疑応答

(委員)

今年になり、クビアカツヤカミキリが京都府内でも発見されたということが問題になっている。今のところ宇治市では発見されていないということだが、何か対策や考えがあれば教えてもらいたい。

(事務局)

植物公園をはじめ、市内の公共施設を管理している部署に改めて周知をして点検をするように伝えており、現場に出向く職員には、桜などの樹の状況を見るよう依頼している。市民向けについては、LINEやホームページを通じ、注意を促している。

(委員)

成虫は首の付け根が赤いので分かるが、フラスは一般の人に分かりづらいので、バイオームというAIを活用したアプリを使って早期発見してもらおうと良い。発見した場合は市や府に届けてもらおうと行政の負担が減り、早期発見につながるので検討してもらいたい。

宇治市環境保全審議議事要旨

(事務局)

考えていきたい。

(委員)

福知山市の環境審議会に参加しているが、そこでの重要な議題がクビアカツヤカミキリについてであった。何とか市外に出ないように京都府と共に取組をされている。

(委員)

「ゼロカーボン」の暮らし宇治市が応援します！のチラシには、補助金は予算がなくなり次第終了と書かれているが、エコ・アクション・ポイントも予算の上限に達するとポイントが付与出来ないと聞いている。チラシを増刷する場合は、エコ・アクション・ポイントについても予算がなくなり次第終了と書いたほうがよい。

(事務局)

今現在は予算に余裕があるので、こうした文章は入れていない。チラシの表現については検討していきたい。

(委員)

自宅に宇治市の名木がある。カシノナガキクイムシにより、樹齢400年の檜の木の主幹が倒れて脇から生えているのがかろうじて生き残っている状態である。宇治市の名木100選のうち、どのくらいが残っているのか把握しているのか。また、さらに名木を指定する可能性はあるのか。

(事務局)

名木については、管理している所管課が別の部署であるので、今何本残っているかは把握していない。森林保全は重要であると考えており、状況については確認したい。

(会長)

以上を持って会議を終了する。円滑な会議の進行にご協力いただきお礼を申し上げる。議事録の精査については一任してもらいたい。

7 部長挨拶

8 閉会